

妙智會

3月28日 春の大法要
聖地大道場(ライブ配信)
宮本法嗣先生ご指導

Vol. 58
2022. 4. 6
1/2

本日はお陰様で素晴らしい天候のお恵みを頂きました。

26日は大導師さまの祥月命日でしたので、千葉聖地の御廟所でご参拝をさせて頂きました。

その時は頭の上ぐらいに黒い雲がかかっておりましたが、これもお陰様でひとつの雨も降らずに、ご参拝をさせて頂くことができました。

本来ですとその雲は、今日この聖地に来るはずでしたが、いつも会主さまをお守り下さっている大導師さまのお心だということ为天候で頂戴いたしまして、御廟所でご供養をさせて頂きました。

これこそが、「妙智力」だとその時に強く頂戴いたしました。

また本日は春の大法要、そして平和祈願式という事でさせて頂きました。

これもご供養をさせて頂いた時に、霊界から会主さま大導師さまから「今やらずして、いつ平和祈願をするのですか」とご指導があり、今日皆さまと共に平和祈願をさせて頂いた次第です。

今私たちはウクライナの紛争を目の当たりにしているわけですが、人というのは自分の足元に火が来ないと、強い思いが湧かないのです。

これは人の業でありまして、それではいけないのです。

そういう恐ろしい根性を捨てて、我が身の様な思いでしっかりとご修行をして頂きたいです。

そこで今日は日蓮大聖人さまの『立正安国論』に書かれております「三災七難」という大きな災いについてお話させていただきます。

まず、「三災」というのは、①飢餓で食生活に困ること ②戦難や革命が起きて社会が乱れる災い ③伝染病などが流行ることです。

そしてもう一つの「七難」は、法華經の普門品の中にあります七つの難です。

「七難」は①火難・ひなん（火災）②水難・すいなん ③羅殺難・らせつなん（悪鬼による難）④刀杖難・とうじょうなん（刃物などによる難）⑤鬼難・きなん（亡くなった霊・死霊から来る難）⑥伽鎖難・かさなん（牢獄に囚われるような難）⑦怨族難・おんぞくなん（人の物を盗んだり殺したりする、悪人から来る難）です。

日蓮大聖人さまは、法華經の教えをしっかりとやらなければ、必ずその国には「三災七難」が訪れますと仰られました。

今、この世界の現状を見た時に、今日皆さまにお話をしたこの「三災七難」がそのまま全て起きているわけであります。

私たち妙智會は、しっかりと受け止めなければなりません。

私たち一人一人が同心となって、正しい先祖供養、懺悔の為の指導きをする事で世が変わり、結果も出るので。